

親離れ子離れ

今年は夏が終わらないんじゃないかと思うくらい厳しい残暑が続いていましたが「暑さ寒さも彼岸まで」と昔からよく言うように、ぐっと秋が深まってきましたね。さて先日朝日新聞の天声人語は「親離れと子離れ、どちらがむずかしいのだろう」という一節から始まるものでした。

親に就職活動の情報集めなどの協力してもらったことのある若者や子どもの欠勤の連絡をしてくる親、最近では本人以上に就活に一生懸命になっている親もいるとか…親心はありがたいが度が過ぎると子どもの自立を妨げる、というような内容でした。

私は大学入学とともに一人暮らしを始めたので、一応親離れできたつもりでしたが、本当の意味で自立できたのは 30 歳を過ぎてからではないかと思うほど自立できていませんでした。

矯正相談に来られる患者さんの中には、親御さんの反対にあつて矯正治療を断念する方、また未成年の患者さんに多いのですが、本人よりも親御さんの強い意志で矯正治療を始められる方など、少なからず矯正治療に親御さんが強く関わっている方が多いように思います。

矯正治療は患者さんはもちろん、家族の方のサポートがあればなお一層成功しやすいので、親御さんにはぜひ患者さんの歯並びを良くしたい、きれいになりたい、健康になりたい、という気持ちを大切に、サポートしていただきたいものです。

親の助言や忠告には尊重すべきもの、従っておいてよかったと思わせられるものもたくさんあります。しかし歯並びのことに限らず、自分が気にしていること、コンプレックスに感じていることはその本人にしか分かりません。

将来「あの時矯正治療しておけば…」 「あの時矯正治療しなかったのに親に止められて…」なんて思っただけありません。矯正治療が親離れ子離れのきっかけになればいいですね。



矯正の豆知識

矯正治療は何のため?



矯正治療という見かけを良くする美容のための治療、と思われがちですが決してそれだけが目的ではありません。健康や機能を向上・維持させるという重要な目的もあるのです。ヒトには永久歯が 32 本(親知らずと呼ばれる第三大臼歯を除くと 28 本)あります。一方、咬合力(物を噛むときにかかる力)は 40~60 kgでその人の体重に相当するとも言われています。本来はその力を 28~32 本の歯でバランスよく支えるべきところを、歯ならびの悪い人ではそれができません。一部の歯に強い力がかかります。また、歯の生えている方向によっては、砂浜の杭が横から揺さぶられるような力が毎日食事のたびににかかるため、歯周組織へのダメージが大きく、歯周病が進行しやすいというわけですね。矯正治療は骨の上にきちんと歯を並べることで、虫歯や歯周病にかかりにくく、またかかっても進行しにくくなるようなお口に環境をつくる予防治療でもあるのです。

当院の敏腕衛生士岡田の歯磨きテクニック講座!!



歯髄=歯の中にある神経
一般的に神経と呼ばれるもので歯科学的には歯髄といえます。この歯の中にある神経は冷たいものや熱いものを痛みとして感じます。またむし歯が進行してバイ菌が入り込んで来たときにも痛みを感じ、ひどい場合には神経を取る必要がでてきます。この歯髄という神経の中には血液が流れていて歯全体に栄養を送っています。そのため神経(歯髄)のある歯は生きています(有髄歯)、神経(歯髄)の無い歯は死んでしまった歯(無髄歯)と考えられ、生きています木と枯れた木に例えられます。神経(歯髄)を失った歯は弱く割れやすくなり、色も悪くなってしまいます。歯にとって決して良いことではありません。

世間話あれこれ

船場まつり 2012

「船場まつり」は、船場の商店街、神社・寺院、連合振興町会が中心となり、船場の企業ワーカーや子どもたちも参加するなど、地域のまつりとして発展し今年で第4回目となりました。船場一帯の恒例のお祭りが今年も盛り上がりまします。繊維卸の街・中船場の総力を上げた大売出しや「船場ロボットファッションコンテスト」、坐摩神社では「せんば鎮守の杜芸術祭 2012」などのイベントを開催します。「楽しさ」と「お得」が詰まった船場 3 日間をお楽しみください。

- 時間 午前 10 時～午後 6 時 (イベントにより異なる)
 - 開催期間 10/12 から 14 日 ※一部イベントは、10/6 から始まっています。
- 詳しくは、ホームページをご覧ください。http://www.sebamatsuri.com/



オカダコラム

今の離乳食は、まちがいだらけ

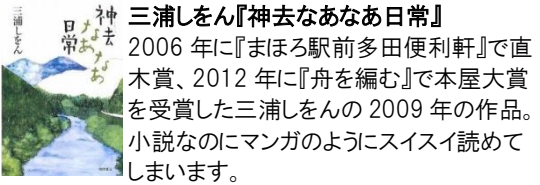
多くの育児書が離乳期のアドバイスのベースにしているものに、厚生労働省が発表している「離乳の基本」があります。「離乳の基本」では、月齢で区切ってそれぞれ「舌飲み期」(調理形態:液体)「口唇食べ期」(調理形態:ドロドロ状)「舌食べ期」(調理形態:舌でつぶせる硬さ)「歯ぐき食べ期」(調理形態:歯ぐきでつぶせる硬さ)「歯食べ期」(調理形態:歯で噛みつぶせる硬さ)と基準が示されています。

このように月齢で区切ってしまうと、どうしても月齢が先行してしまいそれに振り回されてしまう危険があります。「離乳の基本」をベースにした離乳指導、離乳食には月齢先行以外にもいくつかの問題点があります。

- ①障害児の摂食指導から出てきたマニュアルであるため、健常児にはあてはまらないことが多い。
 - ②(口唇・舌の機能という項目があるが)舌やくちびるの動きはお母さんにはわからない。
 - ③個々の子供の発達を無視している。
 - ④よその子供と比べがちになり、ゆとりある育児の実現が難しい。
 - ⑤アレルギーに対する配慮に欠けている。
- などから、「育児書は見ない」「月齢別の離乳食はいらない」「手抜き離乳食」で健康な子供を育てようを推進しています。(『矯正歯科医が教える満 1 歳で離乳が終わる「らくらく」育児』より引用)



今月はじゅんじゅんがお届けする こいっ~完璧に趣味の世界ですわ~



三浦しをん『神去なあなあ日常』
2006 年に『まほろ駅前多田便利軒』で直木賞、2012 年に『舟を編む』で本屋大賞を受賞した三浦しをんの 2009 年の作品。小説なのにマンガのようにスライスイ読めてしまいます。

毎月恒例! 「カフェでお茶する会 ~歯医者さんと友達になろう!」

じゅん矯正歯科クリニック恒例イベント『カフェでお茶する会~歯医者さんと友達になろう!』第 26 回目の開催が決定しました。10 月 23 日(火)19 時からです。毎回、歯の雑学クイズや歯ならび・かみ合わせ、ホワイトニングの話など、大好評のこのお茶会! お一人でもお友達と一緒にでもぜひご参加ください! お申し込みは TEL06-6266-0018 まで

当院の岡田 おススメのお店 ご近所さん本町界隈のお店 今週はじゅんじゅんが お届けします!

センバトテキ
クリニックから歩いて 5 分、心斎橋筋へ続くアーケードに入ってすぐのところ、ビルの入口が少し奥まっているからか、カレー屋→別のカレー屋→また別のカレー屋と開店と閉店を続けた場所に突如現れたのがこのお店です。トテキはオリジナルソースとネギ塩、おろしポン酢の 3 種類から選べます。

がつつりランチを食べたい時はおススメのお店です!
大阪市中央区南本町 3-6-1

今月の一言

運がいいなんてありえない。
チャンスは周到な準備をした者だけにやってくる。
小柴昌俊 (物理学者)